

oliveやまうち【児童発達支援】支援プログラム

作成日 令和 7年 2月 26日

法人理念	「自分らしく、生き抜く力を育む」		
支援方針	私たちは、子ども一人ひとりの発達段階に応じ、感覚統合を促す遊びや身辺自立の支援を行い、言語や体幹トレーニングを通じて成長をサポートし、家庭や専門職と連携しながら、自分らしく生き抜く力を育む支援を行います。		
営業時間	(A)9:00~18:00 (B)8:30~17:30	送迎実施の有無	あり(送迎範囲あり)

(A)平日 (B)祝日・学校の長期休暇

プログラム	支援内容(5領域)			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の検温・視診・触診等を実施し、ひとりひとりの健康状態を把握する。 ・クッキングを通し、食事の挨拶やマナー、食への興味関心を育む。 ・食事・排泄の基本的な生活リズムを身に着ける。(食具の操作訓練、排泄トレーニング) 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う ・製作や壁画などで様々な材料や廃材を使用し、指先の感覚を体験し視覚的にも楽しめる内容にする。 ・日々の雑巾がけで体感を鍛え、バランス感覚を養う。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードやタイマーを使い、活動スケジュールや始終・見通しを掲示、スケジュールの支援 ・製作活動により色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養う/絵本や製作を通して季節を感じる。 ・感触遊び(ヌルヌル・チクチク・さらさら・ベトベト等)を間接的・直接的体験を取り入れ五感を養う。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・発達特性にあわせ、児童に伝わりやすい声かけやツールを利用し、具体的に知らせるコミュニケーション手段を活用していきます。(動画や絵本・カード等) ・絵本の文字や数字に触れる場面を設定し、興味関心や表現の幅が広がる様に支援。 ・友だちとの関わりを通して、ルールや・遊び、様々な感情を体験し、大人に受け止めてもらいながら伝わる経験が出来る様に支援。 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員やお友だちと一緒に遊ぶ活動を通して、他者との関わりや一緒に遊ぶ楽しさを経験する。 ・スケジュール表や絵カード等で見通しを立てることで、自分の気持ちに折り合いをつける経験を重ねる。 ・買い物を行う中で、コンビニやスーパーに実際に行き、支払い方や並ぶということを経験する。 		
	地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	近隣の公園・児童館・公民館、お弁当屋さん 図書館・商業施設・	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やITツールを使い家族との連携を図る。 ・家族からの不安や困り感の軽減できるよう助言やサポート・家族の休息・リフレッシュ
移行支援	児童が利用している保育所・学校等と密な関係作りやモニタリング等で情報共有、連携を行い、統一した支援が行えるようにする。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップのための研修(月1回外部研修) ・法定研修(虐待防止、感染症対策・緊急時対応・事故防止、人権) 	
主な行事等	外出支援・買い物支援・誕生会・クッキング・避難訓練(災害・防犯)・プール・ハロウィンパーティー・クリスマス会・新年会・節分・ひな祭り			